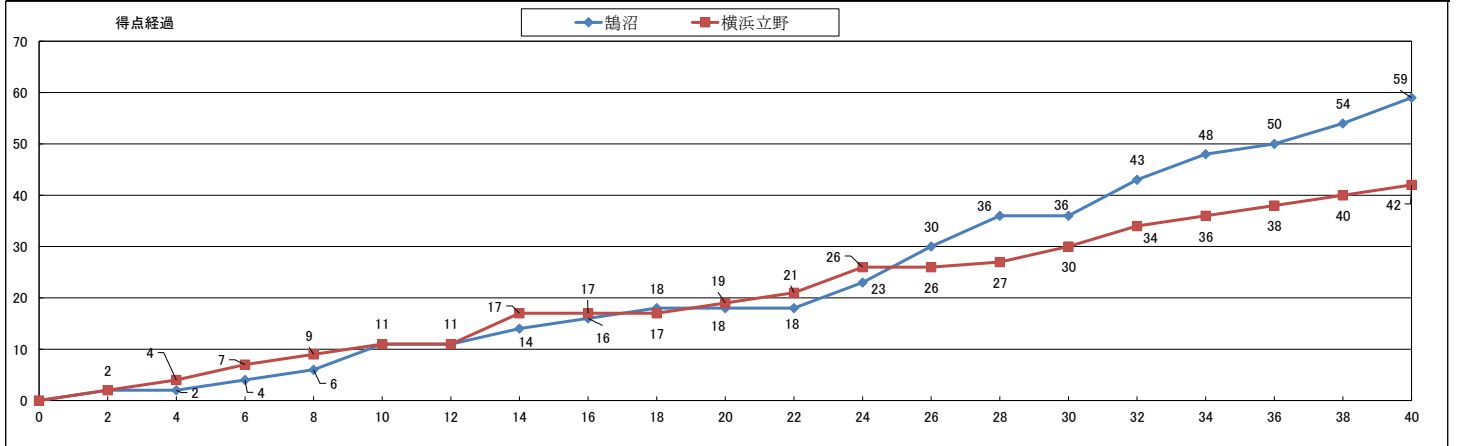


試合No.	1	大会名	令和4年度神奈川県高等学校秋季バスケットボール大会 兼ウィンターカップ2022 令和4年度第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会神奈川県予選会							
		期日	2022年9月18日(日)			会場	トッケイセキュリティ平塚総合体育館			
女子決勝	CC	藤本 梨紗	U1	本間 竜也	U2	佐々木 寛子				
チーム名				Q1	Q2	Q3	Q4	OT1	OT2	Final Score
鶴沼				11	7	18	23			59
横浜立野				11	8	11	12			42

氏名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		AS	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
新倉 沙菜	4	0	0	1	0%	0	1	0%	0	0		2	0	0	0	0	1	2
村上 蘭菜(CAP)	*5	19	5	13	38%	2	3	67%	0	0		0	0	1	2	0	1	2
竹部 心羽	6	2	0	0		1	3	33%	0	0		0	2	1	1	0	1	3
中植 のん	*7	4	0	1	0%	2	5	40%	0	0		1	4	1	1	0	1	2
竹内 なつ	*8	11	1	6	17%	4	9	44%	0	0		1	1	3	1	0	0	1
沢口 彩由美	9	0																
恵 悠衣	10	8	0	0		4	12	33%	0	0		1	1	1	2	0	0	3
小石川 凜	11	3	1	2	50%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
鈴木 葉奈	*12	2	0	0		1	9	11%	0	0		0	4	1	0	0	1	2
ヤン チャイン	13	0																
青木 七彩	*14	6	0	5	0%	3	7	43%	0	2	0%	2	2	0	0	2	1	1
渡辺 優梨乃	15	0																
土田 杷奈	16	0	0	2	0%	0	1	0%	0	0		1	1	1	0	0	0	0
鹿嶋 俐々華	17	4	0	1	0%	2	5	40%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
浅沼 はな	18	0																
コーチ 細木 美和子																		
合計		59	7	31	23%	19	55	35%	0	2	0%	8	15	9	7	2	6	16

氏名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		AS	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
松野 純伶(CAP)	*4	10	0	0		3	5	60%	4	5	80%	3	7	0	1	0	1	2
前田 向日葵	*5	6	1	2	50%	1	9	11%	1	1	100%	0	7	2	2	0	8	1
小林 来夢	*6	4	0	3	0%	2	9	22%	0	0		0	2	2	1	1	4	1
庵 杏	*7	7	1	6	17%	2	8	25%	0	0		1	9	1	0	0	2	0
大津 瑠莉	*8	13	0	0		6	10	60%	1	2	50%	2	7	1	0	0	2	2
沖田 菜歩	9	0	0	3	0%	0	0		0	0		0	6	1	0	0	1	1
伊藤 美月	10	0																
阿部 沙夏	11	2	0	0		1	1	100%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
有馬 遊那	12	0																
鎌田 英里	13	0	0	0		0	1	0%	0	0		0	0	0	0	0	0	0
矢作 ゆう	14	0																
笠原 凜紗	15	0																
木川 結杏	16	0	0	0		0	0		0	0		0	1	0	0	0	0	0
宮田 倭佳	18	0																
山中 真	19	0																
コーチ 石川 一洋																		
合計		42	2	14	14%	15	43	35%	6	8	75%	6	39	7	4	1	18	7



**戦評**

1Q 両チームマンツーマンでスタート。横浜立野はサイズを生かしたプレイでチャンスを作りたいが、鶴沼の運動量豊富なディフェンスに思うようにシュートが決まらない。鶴沼も果敢に1対1を仕掛けるが横浜立野の固いディフェンスの前に阻まれる。鶴沼は選手を積極的に交代し、オールコートディフェンスでプレッシャーを強めるも横浜立野は落ち着いてボールを進めてコントロールし崩れない。両チーム互角の展開が続いた。鶴沼11-11横浜立野で1Q終了。

2Q 両チームハーフマンツーマンでスタート。序盤鶴沼がシュートチャンスを作っても決められず苦しい展開になる。横浜立野は鶴沼のダブルチームに対しても落ち着いて対応し、#7が3ptsを沈める。7分42秒鶴沼タイムアウト。鶴沼のディフェンスが徐々に機能し始め、横浜立野のターンオーバーが増えるも、鶴沼はシュートが決まらず両チーム厳しいディフェンスの中、我慢の時間帯が続く。2分15秒横浜立野タイムアウト。横浜立野は#5のパスワークで3ptsチャンスを作っても決められない。また鶴沼も相手のターンオーバーからシュートチャンスを作っても決められない。残り35秒横浜立野タイムアウト。横浜立野はインサイドにパスをつなぎ得点をする。鶴沼は最後までシュートがリングに嫌われ、決定的な場面が作れないまま前半終了。鶴沼18-19横浜立野。

3Q 横浜立野は前半に引き続きマンツーマンディフェンスで戦う。鶴沼は1-2-1のゾーンプレスを仕掛ける。横浜立野はインサイド中心に得点を重ね、リズムをつかみかけるが、鶴沼も苦しい展開の中#5の3ptsで食らいつく。一進一退の攻防の中、鶴沼が2点リードしたところで4分横浜立野タイムアウト。再開後、横浜立野はターンオーバーを続けてしまい、鶴沼が連続得点を重ね、流れは鶴沼へ傾く。横浜立野の疲れが見え始めたところを鶴沼が攻め込み確実に得点を重ねリードを広げる。2分13秒立野タイムアウト。横浜立野は立てなおしを図るも鶴沼はオールコートマンツーマンに切り替え突き放しにかかる。横浜立野は鶴沼のディフェンスをかくぐり、#4がインサイドでファールをもらい粘りを見せる。鶴沼36-30横浜立野で3Q終了

4Q 3Q同様、横浜立野はマンツーマンディフェンス、鶴沼は1-2-1ゾーンプレスで開始する。鶴沼のディフェンスがより一層激しさを増し、横浜立野はターンオーバーを重ねてしまう。鶴沼はオフェンスにも勢いがつき得点を重ねる。横浜立野も#8がハイポストからのシュートで粘るも疲れから鶴沼の勢いを止められない、12点差ついたところで6分23秒横浜立野タイムアウト。横浜立野はメンバー交代をし粘りを見せる。しかし鶴沼は激しいディフェンスから落ち着いてゲームをコントロールし点差していく。最後まで勝利のわからない大接戦であったが、最終運動量を落とさず戦い続けた鶴沼が59-42で勝利しウィンターカップへの切符を手にした。